

第401号 2016年5月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学大学院人文社会科学研究科 入試説明会のお知らせ
(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜〈平成28年度秋季入学〉、
推薦特別選抜〈平成29年度春季入学〉)

日 時：2016年5月20日(金) 18:00～19:00

会 場：人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

内 容：入試の説明のほか、研究科の概要説明、個別
相談等を行います。

～プログラム～

1. 人文社会科学研究科について
2. 入学試験（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留
学生特別選抜・推薦特別選抜）について
3. 大学院生の声
4. 個別相談
5. 院生室見学

対象者：人文社会科学研究科に興味のある方なら
どなたでも参加可能です。
大学院を検討しているすべての学年の方、
どうぞご参加ください。

※事前の申込は不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941
E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館企画展示について

弘前大学資料館では第11回企画展として『下北の地形・地質とジオパーク -海と火山が育んだ「まさかり」の大地-』を7月11日まで開催いたします。
下北地域の市町村は、下北地域をジオパークにしようと取り組んでおります。本企画展は、本学
学生・教職員や地域の方々に対して下北の地形・地質を学習する機会を促進するとともに、ジオパ

ークに関する関心を喚起することを目的としております。そのために、パネルや標本を用いた地形・地質の紹介、いくつかのジオサイト候補地のパネルを用いた紹介、既存のポスターやチラシを用いた下北でのジオパークへの取り組みの紹介、本学のスタッフによる下北の地形・地質の研究成果の紹介を行います。本企画展は下北地域の市町村が推進している下北ジオパーク構想を周知することにもなり、地域貢献ともなります。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第11回企画展

「下北の地形・地質とジオパーク -海と火山が育んだ「まさかり」の大地-」

会 期：平成28年5月12日（木）～7月11日（月）

（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

【本件問い合わせ先】

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学下北ジオパーク構想アカデミック・サポートチー

ム

（理工学研究科講師 根本直樹）

電話：0172-39-3618 E-mail：nemoto@hirosaki-u.ac.jp



日本生物工学会 北日本支部 弘前シンポジウム
農産物の生産環境・生産性・品質改良へ～生物間相互作用の視点から～
開催のお知らせ

主 催：公益社団法人 日本生物工学会 北日本支部

共 催：東北地域バイオインダストリー振興会議（TOBIN）

日 時：2016年7月23日（土）13：30～17：35（受付 13：10～）

場 所：弘前大学 農学生命科学部 コラボレーションセンター 8F 会議室

（文京町キャンパス：青森県弘前市文京町3番地）

プログラム

13：30～13：35 開会の辞

（日本生物工学会北日本支部 支部長）中山 亨

13：35～14：20 「植物での有用遺伝子高発現系とその活用」

（奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）加藤 晃

14：20～15：05 「ウイロイドーノンコーディングRNA病原ーの分子構造と病原性」

（弘前大学農学生命科学部）佐野 輝男

15：05～15：15 休憩

15：15～16：00 「モモシンクイガの食害に対するリンゴ果実の防御反応と生活史に及ぼす影響」

（青森県産業技術センターりんご研究所）石栗 陽一

16：00～16：45 「天敵を使った害虫防除技術～より成功率の高いIPMを目指す～」

（石原バイオサイエンス株式会社/石原産業株式会社）森 光太郎

16:45~17:30 「接ぎ木で行う作物のエピゲノム編集」
 (弘前大学農学生命科学部・名誉教授) 原田 竹雄
 17:30~17:35 閉会の辞
 (日本生物工学会北日本支部 副支部長) 田口 精一

参加費：無料
 懇親会：18:15~ 青森県弘前市坂本町
 「創作郷土料理の店 菊富士本店」にて開催予定。
 懇親会会費：4,000円(税込)
 申込み方法：学会ホームページ (http://www.sbj.or.jp/form/hirosaki_symo_20160723.html) よりお申し込みください。(シンポジウム参加につきましては当日参加も受け付けますが、懇親会参加につきましては必ず上記URLより事前にお申し込み下さい。)
 申込み締切日：7月15日(金)

問合せ先：日本生物工学会北日本支部 担当者
 柏木明子(弘前大学) E-mail: kashi_a1@hirosaki-u.ac.jp
 園木和典(弘前大学) E-mail: sonoki@hirosaki-u.ac.jp
 交通アクセス JR弘前駅より徒歩約20分, JR弘前駅よりバス約15分, JR弘前駅よりタクシー約5分
http://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access/campus_bunkyocho.html



**平成28年度 第一回健康食品管理士会東北支部会研修会
 ならびに市民公開講座のお知らせ (再掲)**

参加費は無料です。皆様お誘い合わせ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：平成28年5月22日13時30分~15時50分
 場所：弘前大学大学院保健学研究科 第33講義室
 内容：

- 13時00分 受付
- 13時30分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳
- 13時35分 講演 「生活習慣病と健康食品：未病・食育と食養」
 千葉 庸夫 先生(医療法人 社団 赤石会 赤石病院 医師)
 講演概要：「最近では疾病を治療することよりも、疾病にならないようにすることが重要であると認識されるようになった。このことは医療経済的にもプラスになるために、政府としても保健機能食品を推奨し、また食育基本法が制定され、疾病の予防と未病の状態の改善が図られるようになった。漢方薬も未病の治療に用いられるが、今回は生活習慣や、食品を中心とした疾病の予防について食育の重要性を考慮しながらのべる。生活習慣病の多くは小児期から始まっており、一部は母親の妊娠中の習慣などにも関係があることがわかっている。今回は肥満・糖尿病・高血圧症・高脂血症・動脈硬化症・骨粗鬆症・痛風・がんなどについて詳述する。」
- 14時35分 質疑応答
- 14時40分 休憩
- 14時50分 講演 「健康食品と検査—効果は何で測るのか—」
 船渡 忠男 先生 (東北福祉大学 医療経営管理学科 教授)
 講演概要：「食事は、一部の検査項目では、それに伴う生体の変化を反映して、検査値が変動します。健康食品を摂取すると、血圧が下がったり、血糖が下がるというデータがあります。本当にそうなのでしょうか。健康食品の効果を、臨床検査からのエビデンスに基づいて検証する必要があります。」
- 15時50分 質疑応答後、研修会並びに市民公開講座修了

(引き続き16時00分より、健康食品管理士会東北支部総会開催)

主催 健康食品管理士会東北支部会

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域
七島 直樹
TEL: 0172-39-5968
E-mail: nnaoki@hirosaki-u.ac.jp

島根大学医学部特任教授特別講演会のお知らせ(再掲)

日時：平成28年5月30日(月)； 18:00～19:00
場所：理工学研究科2号館2F 11番講義室
講師：島根大学医学部特任教授
吉田正人先生
演題：「フルオロアルキル基含有スチレンダイマーの選択的合成と機能発現」

問い合わせ先：理工学研究科 澤田 英夫
電話：0172-39-3947
e-mail: hideosaw@hirosaki-u.ac.jp

第56回比較経済体制学会全国大会のお知らせ(再掲)

第56回比較経済体制学会全国大会
The 56th Annual Conference
The Japan Association for Comparative Economic Studies(JACES)
共通論題「国民経済とグローバル化する産業発展－比較経済学的アプローチ－」
2016年6月4日(土)・5日(日)
会場：弘前大学文京町地区キャンパス(教育学部棟)
大会事務局 弘前大学教育学部経済学研究室
秋葉まり子 akibam@hirosaki-u.ac.jp

【プログラム】

6月4日(土) ～第1日目～

9:45～10:00

開会(教育学部棟2階大教室)

10:00～11:30

Session I: Comparative Institutional Analysis of Economic Systems in Emerging Markets

Chair: Ichiro Iwasaki (Hitotsubashi Univ.)

Opening Address: Kazuhiro Kumo (Hitotsubashi Univ.)

I.1 The Hungarian Welfare State: Redistribution or Lifecycle Financing

Robert Gal (Hungarian Central Statistical Office/Hungarian Demographic
Research Institute/ Hitotsubashi Univ.)

I.2 Economic Crisis and Female Entrepreneurship: Evidence from Countries in East
ern Europe and Central Asia Saumik Paul (Hitotsubashi Univ.)

12:30～14:00

セッションII: ロシア対外経済の分析

座長: 鈴木 拓(帝京大)

II.1 石油価格、株価および為替レートの相互関係－ロシアに関する分析－

報告者: 大野成樹(旭川大)

II.2 ロシア・ルーブル外国為替相場の時系列曲線の特徴について

報告者：安木新一郎（京都経済短期大）

II.3 ロシアの貿易パターン分析

報告者：金野雄五（みずほ総研）

討論者：久保庭真彰（一橋大名誉教授），他1名（予定）

14:15～15:45

セッションIII：東欧の体制転換とその経済的余波

座長：中村 靖（横浜国大）

III.1 ソ連政治局ブレジネフ・ドクトリン停止（1981年）のその後：東独をめぐるソ連と西独の綱引

報告者：青木國彦（東北大名誉教授）

III.2 ドイツ統一後の東西生産性格差の謎

報告者：中村 靖（横浜国大）

III.3 ポーランド自動車産業におけるサプライチェーンの変化—多国籍企業の進出の観点から—

報告者：岡崎 拓（神戸大・院）

討論者：吉井昌彦（神戸大）

18:00～20:00

懇親会（学生会館大集会室）

6月5日（日） ～第2日目～

9:00～11:40

セッションIVa：共通論題「国民経済とグローバル化する産業発展—比較経済学のアプローチ—」

座長：池本修一（日本大）・上垣 彰（西南学院大）

IV.1 EUと国民経済：東欧自動車産業の再編（仮）

報告者：細矢浩志（弘前大・招待報告）

討論者：蓮見 雄（立正大）

IV.2 中央アジアの産業発展：アジア，ロシア，欧州の狭間（仮）

報告者：カン・ビクトリヤ（帝京大）

討論者：清水 学（ユーラシア・コンサルタント）

IV.3 グローバリゼーション下でのロシアの産業再編（仮）

報告者：藤原克美（大阪大）

討論者：横川和穂（神奈川大）

IV.4 産業のグローバル展開と地域統合：東南アジア

報告者：三嶋恒平（慶応大）

討論者：秋葉まり子（弘前大）

IV.5 中国：TBA

報告者：池部 亮（日本貿易振興機構）

討論者：日置史郎（東北大）

12:30～13:45

セッションIVb：全体討論

座長：上垣 彰（西南学院）

討論者：蓮見 雄（立正大），清水 学（ユーラシア・コンサルタント），

横川和穂（神奈川大），秋葉まり子（弘前大），日置史郎（東北大）

14:00～15:30

セッションV：ロシアのビジネスとガバナンス

座長：雲 和広（一橋大）

V.1 試練のガスピロム：国内状況を中心に

報告者：安達祐子（上智大）

V.2 原油価格と制裁：ロシア経済成長への外部要因の影響

報告者：シャドリナ・エレナ（明治大）

V.3 日系企業の対ロシアビジネス戦略：人材の配置と育成を中心に

報告者：菅沼桂子（日本大）

討論者：蓮見 雄（立正大）

15:30 閉会

弘前大学 金木農場・藤崎農場 「親子体験学習参加者募集」
～触れ合おう、人と自然と農業に！～（再掲）

弘前大学の農場ではイネ・畜産・リンゴの研究を行っており、その研究フィールドを活用した親子体験学習を行います。

金木農場では親子が一緒になって、たくさんの自然と触れ合いながら田植えから白米までのコメ作りや羊の毛刈りを学び、藤崎農場ではリンゴの摘果(実選り)や収穫、昆虫採集を体験します。他にも、羊の毛を使った羊毛作品作りやもちつきの体験、じゃがいも栽培もあります。

いろいろな体験学習ができるチャンスですので是非ふるってご参加下さい！

募集対象 先着25組（保護者1名につき子供2人までとします）
対象年齢 小学生に限ります。
但し、保護者2名以上であれば小学生と共に未就学児の参加も可能です。

実施場所 弘前大学金木農場（五所川原市金木町芦野84-133）
藤崎農場（藤崎町藤崎下袋7-1）

実施期間 5月28日（土）～10月29日（土）まで延べ5日間
実施時間 9時30分～15時30分（昼食休憩1時間、昼食は各自ご持参下さい）

参加経費 ※第4回目は、午前で終了になります。
延べ5日間分全額で大人1名につき1,200円
（但し、大人2名以上から1名追加につき1,000円）お子様は参加費無料となります。

第1回目	5月28日（土）	・ 出会いの会	・ 羊の毛刈り	・ 田植えに挑戦	・ じゃがいもの植え付け
第2回目	6月11日（土）	・ リンゴの摘果	・ 昆虫採集		
第3回目	9月24日（土）	・ 稲刈り	・ もちつき体験	・ じゃがいもの収穫	
第4回目	10月8日（土）	・ リンゴの収穫			
第5回目	10月29日（土）	・ お米の精米と羊毛作品作り	・ 別れの会		
締め切り	平成28年5月20日（金）				

【問い合わせ・申し込み】

弘前大学金木農場 TEL0173-53-2029 FAX 0173-52-5137

E-mail : jm532029@hirosaki-u.ac.jp

（メールでのお申し込みは、氏名・年齢・連絡先を明記して下さい）

●主催 弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
ホームページ <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html>



親子体験学習
触れ合おう、人と自然と農業に

弘前大学の農場ではイネ・畜産・リンゴの研究を行っており、その研究フィールドを活用した楽しい親子体験学習を行います。
金木農場では親子が一緒になって、たくさんの自然と触れ合いながら田植えから白米までのコメ作りやじゃがいも栽培、羊の毛刈りを学び、藤崎農場ではリンゴの摘果（実選り）や収穫、昆虫採集を体験します。他にも、羊の毛を使った羊毛作品作りやもちつきの体験も実施します。
いろいろな体験学習ができるチャンスですので是非ふるってご参加下さい。

募集対象 先着25組（保護者1名につき子供2人までとします。）
対象年齢 小学生に限ります。但し、保護者2名以上であれば小学生と共に未就学児の参加も可能です。

実施場所 弘前大学金木農場（五所川原市金木町芦野84-133）
藤崎農場（藤崎町藤崎下袋7-1）

実施期間 5月28日（土）～10月29日（土）まで延べ5日間
実施時間 9時30分～15時30分（昼食休憩1時間、昼食は各自ご持参下さい。）
※第4回目は、午前で終了となります。

参加経費 延べ5日間分全額で大人1名につき1,200円（但し、大人2名以上から1名追加につき1,000円）お子様は参加費無料となります。

第1回目 5月28日（土） 金木農場	第2回目 6月11日（土） 藤崎農場	第3回目 9月24日（土） 金木農場
・ 出会いの会 ・ 羊を飼いでしよう！羊の毛刈り ・ 田植えに挑戦！ ・ じゃがいもを育てよう！	・ リンゴの赤やんごんにちほ！ ・ じゃがいもの収穫！ ・ 羊も昆虫採集！ ・ じゃがいもの収穫！	・ 実ったイネの収穫！ ・ みんなでイネ！もちつき体験 ・ じゃがいもの収穫！
第4回目 10月8日（土） 藤崎農場	第5回目 10月29日（土） 金木農場	
・ 真っ赤なリンゴが実った！ ・ リンゴの収穫	・ お米の精米と羊毛作品作り！ ・ 別れの会	

締め切り 平成28年5月20日（金）
TEL 0173-53-2029（平日 8:30～17:00）FAX 0173-52-5137
E-mail jm532029@hirosaki-u.ac.jp
（メールでのお申し込みは、氏名・年齢・連絡先を明記して下さい）
弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
ホームページ <http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/kyousei/event.html>

弘前大学白神研究会 初夏の観察会のお知らせ（再掲）

2016年 弘前大学白神研究会 初夏の観察会 白神山地 新緑のブナ林を楽しみましょう！

- ▽と き 6月25日（土）午前10時～午後4時
- ▽コース 県道28号線トラの沢林道入口から、巨木ふれあいの径-津軽峠を周回
（とくに危険なところはありません）
- ▽集合 10時 西目屋村・アクアグリーンビレッジANMON駐車場
（車のない方はお申し出下さい。9時弘前大学正門集合）

- ▽参加人数 20名
 ▽対象 小学3年生以上（小中学生は保護者同伴）
 ▽服装装備 ふつうのハイキングの服装。雨具はかならずお持ち下さい。そのほか、手袋、虫除け、かゆみ止め。お弁当、飲み物。地形図を購入される方は、1/25,000「川原平」図幅です。
- ▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）
 ＊会員の方は500円
- ▽主催 弘前大学白神研究会
 ▽申込 弘前大学白神自然環境研究所
 （山岸、電話・Fax 39-3706）
 E-mail: hyama@hirosaki-u.ac.jp
- ▽締切日 最終申込日は6月22日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。
- ▽問い合わせ 弘前大学農学生命科学部（本多）
 Tel/Fax 0172-39-3812
 E-mail: honda@hirosaki-u.ac.jp

2016年 弘前大学白神研究会 初夏の観察会

白神山地 新緑のブナ林を楽しみましょう！

▽と き 6月25日（土）午前10時～午後4時
 ▽コース 国道28号奥トラの沢林道入口から、巨木ふれあいの径-津軽峠を周回（とくに気楽なところはありません）
 ▽集 合 10時 西目屋村・アサダグリーンビレッジAMMO駐車場（車のない方はお申し出下さい、9時弘前大学正門集合）
 ▽参加人数 20名
 ▽対 象 小学3年生以上（小中学生は保護者同伴）
 ▽服装・装備 ふつうのハイキングの服装。雨具はかならずお持ち下さい。そのほか、手袋、虫除け、かゆみ止め。お弁当、飲み物。地形図を購入される方は、1/25,000「川原平」図幅です。
 ▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊会員の方は500円
 ▽主 催 弘前大学白神研究会
 ▽申 込 弘前大学白神自然環境研究所（山岸、電話・Fax 39-3706）
 E-mail: hyama@hirosaki-u.ac.jp
 ▽締切日 最終申込日は6月22日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。
 ▽問い合わせ 弘前大学農学生命科学部（本多）Tel/Fax 0172-39-3812
 E-mail: honda@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学白神研究会

弘前大学出版会からのお知らせ

○教育学部 森本洋介 監訳「メディア・リテラシー教育と出会う—小学生がデジタルメディアとポップカルチャーに向き合うために—」（B5判、220頁、定価2,160円：税込）を出版しました。

～紹介文～

本書は、アメリカ合衆国の小学校において体系的にデジタル時代のメディア・リテラシー教育に取り組むにはどうすればよいかを述べられている。

メディア・リテラシー教育とは、単に先進技術を授業に持ち込むことではなく、子どもたちを取り巻くメディア環境や、日々子どもが接しているメディア作品（マンガやアニメ、映画、ネットサイトやゲーム、ニュースなど）について多角的・分析的に考えるための教育である。本書の特徴は、具体的な学校現場の実践の様子や、担当した教師の思いがいたるところで引用されていることにある。メディア・リテラシー教育に関して日本では理論書やマニュアル本的な内容の書籍が多いなかで、本書は現場の実態に即しながら、本質的に抑えるべき理論もしっかりと記述されている。

メディアについて子どもに考えさせたいが、方法がわからないという教師の方々、これから教師になろうという学生には、ぜひ読んでいただきたい一冊である。

メディア・リテラシー教育と出会う
 小学生がデジタルメディアとポップカルチャーに向き合うために

ルネ・ホップス / デビッド・クーパー・ムーア



森本 洋介（監訳）
 上松 悠理子・斎藤 俊樹・豊原 貴博
 中村 純子・村上 紀田 正人（訳）

弘前大学出版会

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

学 内 掲 示 板

事務局庁舎改修に伴う学長直言箱の撤去について

事務局庁舎改修のため、庁舎1階に設置しておりました学長直言箱を撤去させていただきます。撤去期間中、ご迷惑をおかけいたしますが、事務局庁舎以外に設置しております学長直言箱をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

撤去期間：平成27年8月17日（月）～平成28年8月末日（予定）

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第39号」では、授業や課外活動に真剣に取り組む学生、グループの活動の紹介する「今、学生は！」のコーナーにおいて、本学のサークル「H・O・T Managers」が紹介されています。ぜひご覧ください。

H・O・T Managers掲載「国立大学第39号」

<http://www.janu.jp/report/koho/39gou.html>

最新号「国立大学第40号」

<http://www.janu.jp/report/koho/40gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第36号・第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498 内線:3029